

“尾瀬の木道ペーパー”の製造工程



ハイカーの安全と尾瀬の自然を守る木道



10年周期で毎年約2kmの架替工事を実施
車が入れないためヘリコプターで搬出



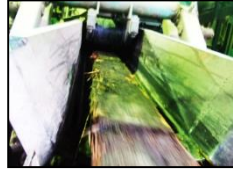
集積された木道



パーカーへ投入



切削直後のチップ



チップパー機へ投入



腐食部分を除去



腐食、砂、泥などを除去



マグネットによる金属類の除去



チップスクリーンにてサイズの分別



尾瀬の木道チップの山



リフトでトラックへの積み込み



中越パルプ工業高岡工場
トラック2台分降ろした状態



紙の原料となるチップ化された木道



チップを紙の樹脂を溶かし出す
蒸解釜(じょうかいがま)へ投入



尾瀬の木道ペーパーの出来上がり



抄紙(しょうし)機により紙を製造



木道パルプ。
取り出した繊維から脱水と
漂白を繰り返して作られる



針葉樹蒸解釜の全景。
上部からチップを流し、
最下部で繊維を取り出す工程



パンフレット
イメージ



ポスター
イメージ



名刺
イメージ



尾瀬国立公園の木道を再利用した循環型印刷商品
商品には「尾瀬の木道ペーパー」が使用されていることを表すロゴマークを入れることができます。